

横須賀市と防犯協定

第一環境・プロJV2者 パトロール等で支援

横須賀市上下水道局から水道料金等徴収業務を受託している第一環境と、管路維持管理業務を受託している横須賀上下水道Protect JVは、それぞれ市との間で防犯活動に関する協定を締結した。8月21日に市役所内で開かれた協定締結式には、平澤和宏副市長、第一環境の根岸弘行取締役、JV代表企業の水ingAMの山内精

一営業本部副本部長らが出席し、今後の協力を誓い合った。

協定は、犯罪などの危険な状況時に安全な場所を提供する「よこすか安

全・安心ステーション」と、事業用車両にステッカーを貼る「よこすか安全・安心パトロール」の2種類。このうち第一環境はステーション協定と



協定書を手にする平澤副市長ら関係者

パトロール協定を、JVはパトロール協定をそれぞれ市と締結した。

協定締結を受け平澤副市長が上地克明市長のあいさつを代読。「水道事業は市民の日常生活を支える最も身近なライフライン。地域に日頃から安心と安全を届ける重要な役割を、皆さまに担っていただいている」と述べつつ、今回の協定締結を機に「防犯の面でも日頃から間違いない大きな力となっていたただけるものと確信をしている」と期待を寄せた。

また第一環境の根岸取締役は「企業活動を通じて、地域社会に貢献する責任がある。その一環として、従業員一人ひとりが防犯意識を持ち、日常業務の中で安全確保に努めることが不可欠。協定締結により、弊社従業員の意識向上を図ることができると考えている」と述べ、水ingAMの山内副本部長は「（維持管理業務での）日々の対応

を通じて、地域の皆さまの信頼を得るとともに、官民一体となった協力体制の重要性を改めて実感している。今回の協定締結はそうした実績と信頼関係の延長線上にあるもの。今後は防犯・安全面でも横須賀市と連携を深め、地域の安心を支える活動を推進したい」と意

気込んだ。

協定締結により、第一環境は市役所近傍にある「上下水道局お客様料金サービスセンター」を安全・安心ステーションとして提供するほか、第一環境は営業車両29台、JVは営業車両5台に防犯ステッカーを掲示する。